

地球観測に関する政府間会合（GEO）の動向について

文部科学省 研究開発局
環境エネルギー課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

GEOの概要

GEOとは

地球観測の国際連携による課題解決を目指す国際的な政府間パートナーシップ。SDGs、気候変動、防災・減災及び都市の強靱化の4つを優先連携分野として位置づけ、全球地球観測システム（GEOSS）やワークプログラムなどを通してグローバル課題の解決に貢献している。

GEOのビジョン、ミッション

『GEO戦略計画2016-2025: GEOSSの実施※』

ビジョン：人類の利益のための意思決定や行動が、調整された、包括的かつ持続的な地球観測及び情報に基づいて行われる将来を実現する。

ミッション：ビジョンを実現するため、GEOSSを構築し、地球観測データ及び情報の需要と供給を結びつける。

※現在はGEOの第2期にあたる。（第1期は2005-2015年の「GEOSS10年実施計画」）

GEOSS

各国の複数の観測システム（衛星・現場観測）からなる地球観測のシステム。気候変動等のグローバル課題への貢献を目指し、各国の地球観測データ等を官民を含む広範囲のユーザに対して提供するポータルサイト『GEOSS Portal』を運用。

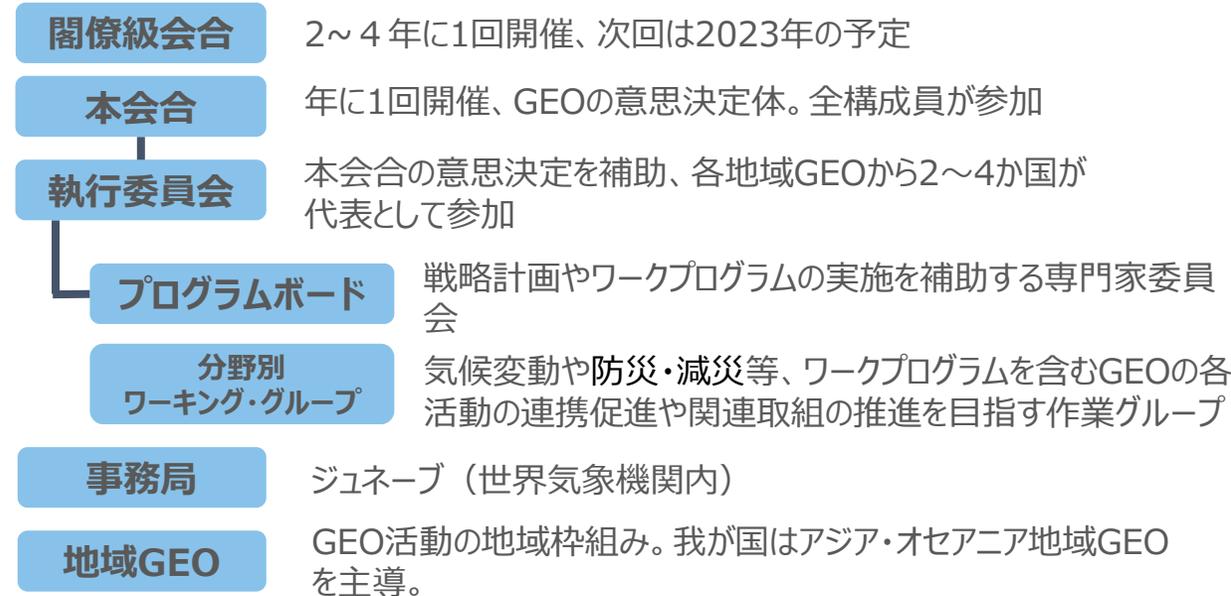
ワークプログラム

- GEOの計画・活動の主要な手段。地球観測を用いた課題解決等のための具体的な活動やプロジェクト。
- 3年毎に見直しが行われる。現在は2023-2025年のワークプログラムを履行中。



ガバナンス構造

※参加国からの拠出金により運営



参加国
114か国
参加機関
144機関



GEOと地球観測推進部会の関係性

第1期GEO（2005-2015）に関する動き

第2期GEO（2016-2025）に関する動き

GEO

日本国内の動き

G8イビアン・サミット

2003年6月 | 全球的な地球観測の重要性が確認され、日本の提案により、10年実施計画の策定を行う閣僚級会合の2004年東京開催が合意。

第2回地球観測サミット

2004年4月 | 全球地球観測システム（GEOSS）の範囲等を示した枠組文書が採択。

第3回地球観測サミット

2005年2月 | 第1期GEOの「GEOSS10年実施計画」の採択及びGEOの設立が承認。

GEO閣僚級会合/第12回本会合（メキシコシティ）

2015年11月 | 第2期GEOの「GEO戦略計画2016-2025」が承認。

「地球観測の推進戦略」（総合科学技術会議）

2004年12月 | 地球観測に関する国際的な取組の中での我が国の貢献のあり方を明確にし、国際的な対応を戦略的に進めるための基本方針と推進戦略を示す。

「GEOSS新10年実施計画の検討に向けた我が国の地球観測の方針」（中間とりまとめ） （地球観測推進部会）

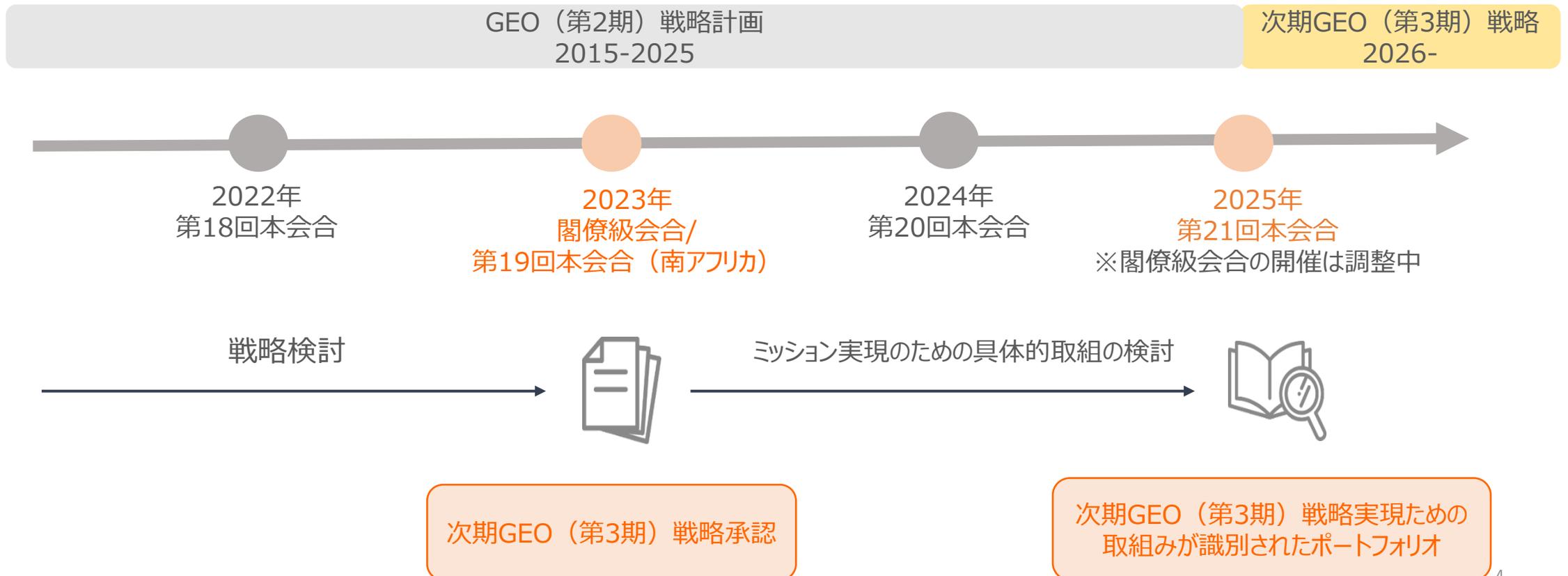
2015年1月 | GEOSSを課題解決や持続可能な開発のための情報を提供する統合的なシステムとして更に発展させるため、我が国の新たな地球観測の実施方針の策定に向けた中間取りまとめ。

「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」（地球観測推進部会）

2015年8月 | 地球観測を取り巻く国内外の動向を踏まえ、10年程度を目途とした我が国における地球観測の取組にあたっての基本的な考え方について取りまとめ。

次期GEO（第3期）戦略策定に向けた動き（～2025年）

- 現行のGEO戦略計画が2025年に終了することから、次期GEO（2026年～）の戦略の策定に向けて検討が進められており、今年11月に開催される第19回GEO本会合（南アフリカ）で採択される予定である。
- GEO次期戦略案については、2022年5月から、各地域の代表によって構成される検討ワーキンググループ（Post-2025 Working Group）で検討が行われてきた。



次期GEO（第3期）戦略策定に向けた動き（～2023年11月）

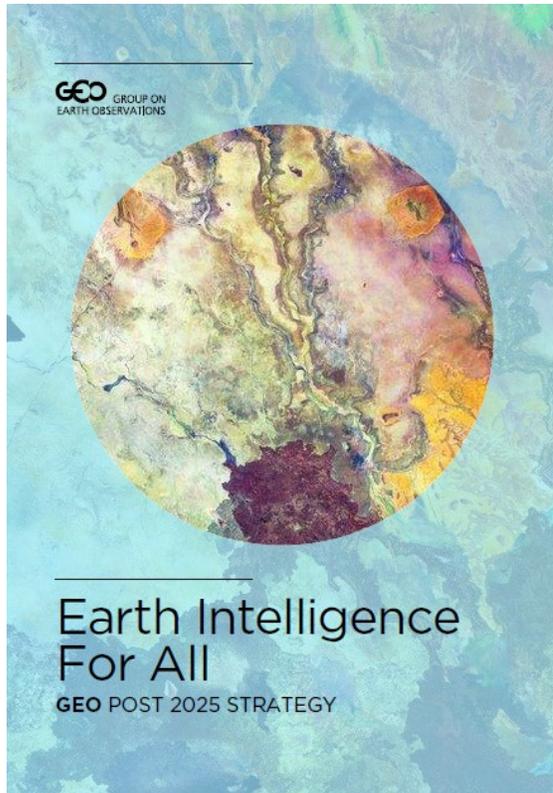
- 次期GEOの戦略案については、2022年5月から、各地域の代表によって構成される検討ワーキンググループ（Post-2025 Working Group）で検討が行われ、2023年6月にドラフト案がGEOコミュニティに展開している。
- 我が国も本ワーキンググループに参加し、第9期地球観測推進部会等での議論も踏まえ、GEOの次期戦略策定に向けた議論に加わっている。



次期GEO（第3期）戦略案の概要①

ポイント

- 「地球インテリジェンスの創出」をGEOのミッションの中核に位置づけ。



VISION

信頼性の高い地球インテリジェンスが普及し、これによって社会の持続可能な未来が実現される世界を目指す。

A world where trusted Earth intelligence is universally accessible and empowers society to achieve a sustainable future.

MISSION

GEOは政府間会合としての特色を生かし、地球規模の社会・環境的課題に対する意思決定に貢献し、その行動を加速させるユーザー目線の地球インテリジェンスを創出する。

GEO leverages its unique position as an established intergovernmental body to co-produce user-driven Earth intelligence solutions that inform decisions and accelerate action on global societal and environmental challenges.

次期GEO（第3期）戦略案の概要②

イントロダクション、コンテキスト

1

3つの地球規模の危機（気候変動、生物多様性の損失、及び化学物質・汚染）に直面し、これらがもたらす**複合的な課題**によって持続可能な開発が阻害されている。

GEOの強み

2

GEOは設立以降、①政府間会合、②分野・学際横断型、③マルチスケール、④包括的・適応的な性質を強みとし、**地球観測により複合的な課題の解決に貢献**することができる。

GEO is intergovernmental:

governments, as custodians of GEO, drive the implementation and evolution of GEO and work with other stakeholders to create solutions, enhancing trust and ensuring a long-term perspective and sustainability;

GEO is multiscale:

GEO services provide insights at the global, regional, national and local levels and are designed to be scalable and customizable, allowing for flexible and agile implementation in a rapidly changing world;

GEO's Strengths

GEO is transdisciplinary and multisectoral:

a global network of partners from across disciplines and sectors can be mobilized to respond to different demands. This transdisciplinary and cross-sectoral nature of GEO makes it a unique proposition compared to other coordination mechanisms;

GEO is inclusive and adaptive:

GEO develops services with inputs from multiple stakeholders and communities, makes these services accessible through the principle of open knowledge, and brings in new actors and services to meet Earth observation needs.

次期GEO（第3期）戦略案の概要③

新たな方向性 Earth intelligence for ALL

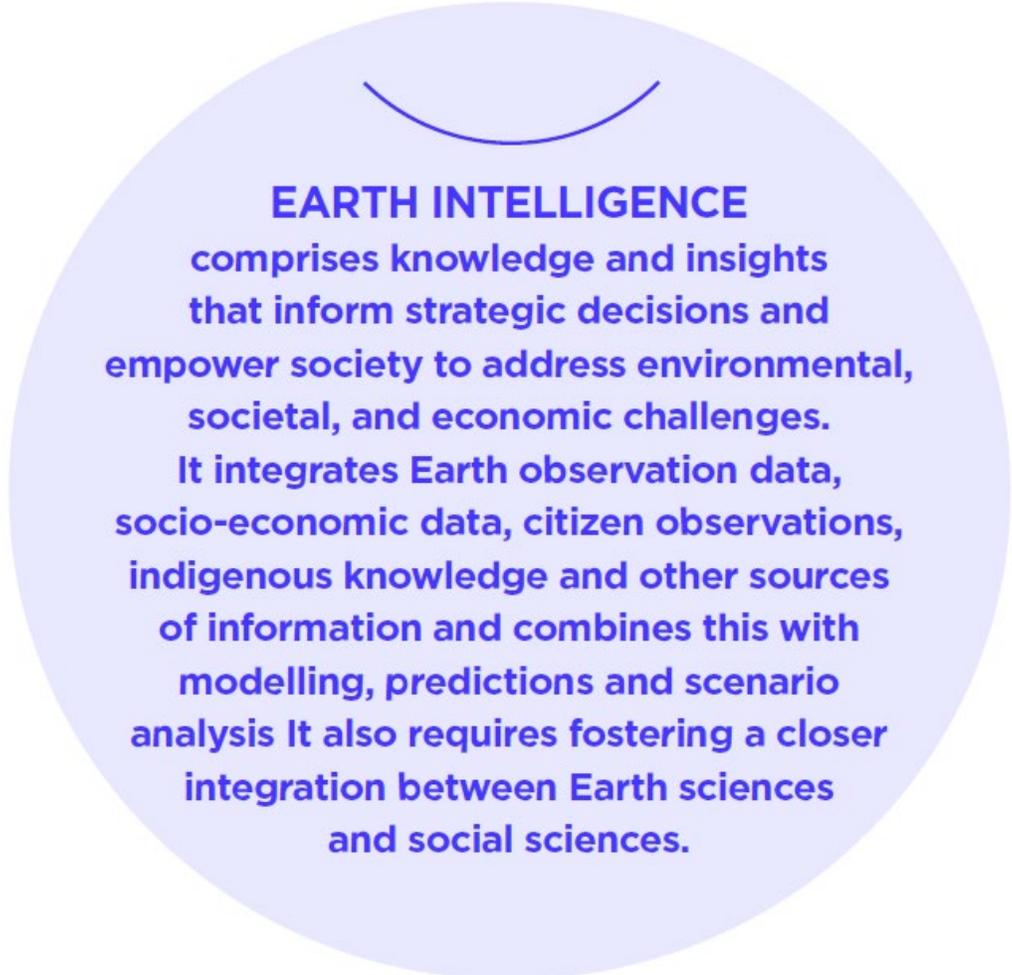
3

GEOは地球観測における世界的な衡平性を追求し、様々なニーズと能力を持つコミュニティに対し公平に成果と機会を提供する。

GEOは地球観測のみならず、地球インテリジェンスも提供する。

地球インテリジェンス定義

環境や社会経済の課題に対する意思決定や社会の活性化に必要な知識や洞察をもたらすもの。地球観測データをはじめ、社会経済データ、市民観測及び先住民の知識等の異なるデータを統合し、モデルや予測、シナリオ分析等との組み合わせによって創出される。



EARTH INTELLIGENCE
comprises knowledge and insights that inform strategic decisions and empower society to address environmental, societal, and economic challenges. It integrates Earth observation data, socio-economic data, citizen observations, indigenous knowledge and other sources of information and combines this with modelling, predictions and scenario analysis. It also requires fostering a closer integration between Earth sciences and social sciences.

次期GEO（第3期）戦略案の概要④

アクションプラン

4

- GEOは信頼性の高い地球インテリジェンスを提供するための変革的なプログラムを創出するとともに、データやナレッジの公開・共有をさらに促進することでグローバルな衡平性を拡大する。
 - i. GEOが作り上げてきたデータ共有原則に基づき、マルチユーザーライセンス※に向けた調整を進めることで、地球観測データとナレッジへのアクセスの拡大と普及を図る。
 - ii. 地球観測リテラシー、地域・ローカルの能力開発と優良事例の共同開発を図る。
- 新たな技術やイノベーションを地球インテリジェンスサービスに統合する。
- 地球インテリジェンスの普及に向けた活動への投資を行うとともに、次世代、若手研究者、及び未来のユーザー等へのエンゲージメントも加速する。

※民間企業等の高分解能衛星データなどの地球観測データについて、GEOを通じてマルチユーザーライセンスを設定することにより、途上国等のユーザー向けにオープン&フリーで共有する枠組み

次期GEO（第3期）戦略案の概要⑤

GEOの運営形態

5

- ユーザーに対する説明責任を促進するプロセスと手順の確立。
- GEOの意思決定プロセスにおける適切な代表権の設定。
- 資金調達の世界拡大。
- 公平性、多様性及び包括性の拡大と地域レベルでの活動の推進。

An operating model that is efficient, effective and fit-for-purpose to deliver, with the GEO Secretariat, the GEO Work Programme and operational products and services benefiting the world.

Strengthened participation of indigenous peoples and local communities, playing a key role in the governance of GEO as well as contributing to and benefitting from its work.

Successful engagement of industries along the Earth observation value chain, including small- and medium-sized enterprise and downstream industries such as finance and insurance and other current or potential end users.



GEOの戦略における概念の変化

地球観測データの利活用の拡大



主体

観測実施機関
研究者

観測実施機関
研究者
企業

国際機関
政府機関
金融機関
途上国支援機関
企業

GEO

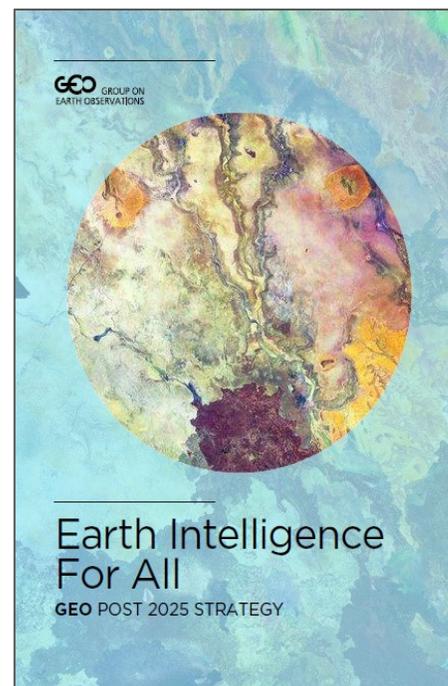
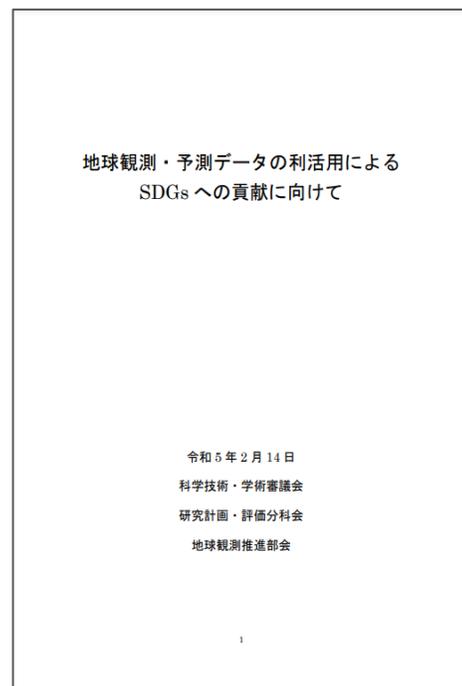
第1期GEO "Data for All"

第2期GEO "Service for All"

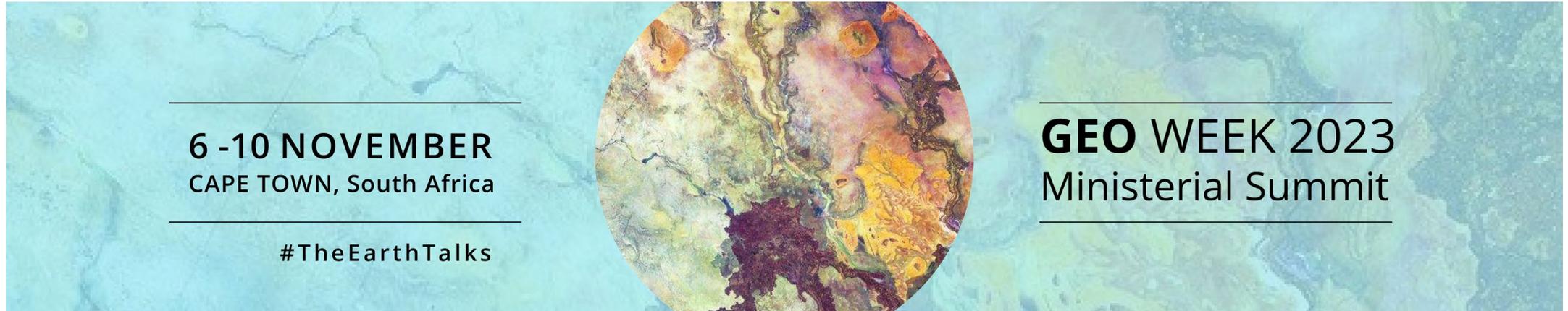
第3期GEO "Earth Intelligence for All"

次期GEO（第3期）戦略案に対する我が国からのインプット

- 第9期地球観測推進部会における議論等を踏まえ、地球観測情報をデータ利活用の現場につなぐ取組の強化の観点から、エンドユーザーが必要とするインテリジェンス（様々な分野からデータを収集・分析・統合して作成した、判断・行動のために必要な知識）をGEOが主体的に創出していくことの重要性について発言した。
- 上記インテリジェンスの概念は、「地球インテリジェンス」として、次期GEO戦略案に反映されている。



GEO WEEK 2023（南アフリカ）について



日時：11/6（月）～ 11/10（金）

場所：南アフリカ・ケープタウン

参加者：GEO加盟国の大臣等

テーマ：地球対話「The Earth Talks」

11/6（月） GEOコミュニティイベント

11/7（火） GEOコミュニティイベント

11/8（水） 第19回GEO本会合

11/9（木） 第19回GEO本会合

11/10（金） GEO閣僚級会合

ポイント

- 第19回GEO本会合において次期GEO戦略（2026年～）が合意され、閣僚級会合においてこれを支持する「ケープタウン宣言」を採択する予定（宣言案は①新たな世界、②新たなGEO、③新たなコミットメントという3章構成）。
- 宣言案については、GEO閣僚級会合準備ワーキンググループでの議論・修正を経て、9月頃に大枠が固まる予定。